

# 薬局実習の実施内容

実習項目	実習内容	期間	評価
全ての実習項目で 共通事項	○医療人としての心構えを理解する ○薬物療法におけるリーダーシップを発揮できる ○地域保険医療における薬局の役割を体験し、理解する ○医療安全管理（リスクマネジメント）を理解する	全期間 を通じ	ループリック
薬局実習導入	○薬局の構造設備、薬局における関連法規及び業務の流れを理解する ○各種保険算定要件や医薬品の供給と管理について理解する	1 週間	ループリック
保険調剤と薬局製剤	○保険調剤業務 ○薬局製剤業務	3-4 週間	ループリック
薬学的管理指導業務 の実践*	○疾患と薬物療法 ：患者の病態生理、薬物治療方針を理解する ○患者情報の把握 ：種々の情報源から、薬物療法の立案と評価に必要な患者情報を、倫理的観点からも配慮し収集する ○医療情報及び医薬品関連情報の活用（情報の収集、吟味、加工） ：施設での様々な情報源と収集方法を理解し、実際の患者、来局者に適切な医薬品情報を作成して提供する ○処方設計・処方解析と薬物療法の実践 ：患者の薬物治療に継続的に関わり、患者の病態を推察し、より有効で安全な薬物療法について考察したり、 必要があれば処方医に提案する。さらに、患者アドヒアランスに関する問題を発見し解決策の提案を実践する ○在宅医療と地域における連携医療 ：薬局薬剤師による在宅医療、居宅介護の支援業務を患者宅、施設等への訪問も含め継続的に体験する ：地域包括ケアや保健所等を通して地域で連携を体験する ○プライマリケア、セルフメディケーションの実践 ：実際の店頭での来局者の健康相談を体験し、指導薬剤師と一緒に受診勧奨やOTC販売などの対応を体験する	5.5-6.5 週間	薬物療法の実践 ⇒ループリック  チーム医療 ⇒実習日報
地域保健・衛生への参画	○学校薬剤師を体験する ○地域における保健衛生活動 ○災害医療を理解する	0.5 週間	実習日報

\* 代表的な8疾患のうち、最低 3疾患は患者応対による実践で体験実習として学べる環境を整える。      \* 在宅医療及びプライマリ・ケア、セルフメディケーション実習はこの一環として実施する